

「歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿TOKYU MILANO再開発計画)」

施設名称を「東急歌舞伎町タワー」に決定

—2023年春開業予定、コンセプトは「“好きを極める場”の創出”—

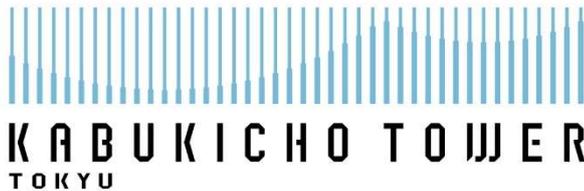
東急株式会社

株式会社東急レクリエーション

東急株式会社および株式会社東急レクリエーションは、新宿TOKYU MILANO跡地を中心とした敷地にて両社で推進している歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿TOKYU MILANO再開発計画)(以下、「本計画」)の施設名称を、「東急歌舞伎町タワー」(以下、「本施設」)に決定しました。名称には、東急グループが歌舞伎町の街とともに、エンターテインメントを通して新たな観光拠点を創り上げていきたいという意志が込められています。

なお、本計画は、映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設、ホテルなどからなる高層複合施設を整備するもので、竣工は2023年1月11日、開業は同年春を予定しています。

また、施設名称決定に合わせて本施設のブランドロゴも決定しました。ブランドロゴは、ピアノの鍵盤や音響機器のイコライザーといったエンターテインメント性や本施設の外観のモチーフである噴水の要素を内包したデザインエレメントと、文化やコンテンツなどさまざまな要素からなる歌舞伎町の多様性を表現したロゴタイプで構成し、本施設が歌舞伎町エリアと一体となり、さらなる賑わい創出に寄与していきたいという願いが込められています。



▲ブランドロゴ



▲本施設外観イメージ

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中でエンターテインメントの楽しみ方や宿泊へのニーズが大きく変化していますが、リアルな体験価値への渴望はますます高まりを見せ、好きなものへの情熱は世代を超えて広がってきています。本施設では、「“好きを極める場”の創出」をコンセプトに掲げ、ホテルとエンターテインメントの複合施設という特性を活かし、「見出す～育てる～羽ばたかせる」といった新たな「好き」を生み出すストーリーづくりに取り組みます。そして、リアルとオンラインを通じて、それらのストーリーと合わせながら、「好き」に出会う機会や、そこに集う方々の「好き」への情熱が交感される場を創出することで、極められたさまざまな「好き」の想いととも街の未来や文化、延いてはさらなる多様性を紡いでいくこと(MASH UP)を目指します。

なお、本計画については国土交通省より、新宿駅周辺地域の新しい地域整備方針に基づく民間都市再生事業計画として初の認定を受けており、先導的な感染症対策等を実施する文化・芸術施設等の集客施設としてエンターテインメント・宿泊の新しい在り方を体現し、国際観光都市東京・新宿・歌舞伎町のさらなる魅力向上に貢献していきます。

(参考)この資料は本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、都庁記者クラブ、ときわクラブ、レジャー記者クラブにお届けしています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東急株式会社 社長室広報グループ 報道担当

電話:03-3477-6086

株式会社東急レクリエーション 事業創造本部 新宿再開発準備室

電話:03-5291-5011

【別紙】

■施設名称・ブランドロゴ

本施設の施設名称は、高さ約225mという歌舞伎町エリア(以下、「本エリア」)のランドマークとなるシンボリックな建物であるということと、東急グループが歌舞伎町の街とともに、エンターテインメントを通して新たな観光拠点を創り上げていきたいという意志を込めて、「東急歌舞伎町タワー」に決定しました。

また、施設名称決定に合わせて本施設のブランドロゴも決定しました。ブランドロゴはデザインエレメントとロゴタイプを組み合わせる構成しております。

デザインエレメントは、ピアノの鍵盤や音響機器のイコライザーといったエンターテインメント性を想起させる要素に加え、本施設の外観のモチーフである噴水の要素を内包しています。また、本エリアにかつて川が流れていたことや、現在でも歌舞伎町弁財天が水を司る神として祀られていることから、本エリアの根源的な要素である「水」の色合いも継承しています。

ロゴタイプは、多様な大衆娯楽文化を世界に発信する観光拠点としてのエンターテインメント性を感じられるだけでなく、複数のブロックの組み合わせでできており、文化やコンテンツ、行き交う人々など、さまざまな要素からなる歌舞伎町の多様性を表現しています。

そして上記のデザインエレメントとロゴタイプを組み合わせたブランドロゴには、本施設が本エリアと一体となり、エンターテインメントを中心としたさまざまなコンテンツを発信していくことで、国内外含むツーリストの目的地となり、本エリアのさらなる賑わい創出に寄与していきたいという願いが込められています。



※施設名称・ロゴマークにつきましては、商標登録出願手続き中です。

■コンセプト

本施設では、「“好きを極める場”の創出」をコンセプトに掲げています。昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中でエンターテインメントの楽しみ方や宿泊へのニーズが大きく変化していますが、リアルな体験価値への渴望はますます高まりを見せ、好きなものへの情熱は世代を超えて広がってきています。本施設は、ホテルとエンターテインメントの複合施設という特性を活かし、「見出す～育てる～羽ばたかせる」といった新たな「好き」を生み出すストーリーづくり・ライフスタイルの提案に取り組みます。そして、リアルとオンラインを通じて、それらのストーリーと合わせながら、「好き」に出会う機会や、そこに集う方々の「好き」への情熱・想いが交感される場を創出します。更に、本施設が本エリアと一体となり、新宿歌舞伎町という街で紡がれてきた歴史や文化に触れる機会を創出することで、滞在や回遊そのものが都市文化体験として昇華され、極められたさまざまな「好き」の想いとともに街の未来や文化、延いてはさらなる多様性を紡いでいくこと(MASH UP)を目指します。

また、本施設のWEBサイト及びTSTエンタテイメントのWEBサイト「MASH UP! KABUKICHO」での取り組みの発信を通じて、「好き」が集まる聖地となっていくことも目指します。



■各用途概要

【B1～B4 ライブホール】

新宿エリア最大級のキャパシティをもつ1,500名収容のライブホールを展開します。

新宿歌舞伎町には、大小さまざまなライブハウスが存在しており、多くの著名アーティストを輩出してきました。地域に根付いたライブ文化を継承しつつ、ソニーミュージックグループの持つ、Zeppホールネットワークの基盤を活かし、東京のミュージック・カルチャーを国内外に発信していきます。



【6～8F 劇場】

舞台と客席の一体感を重視した設計により、アーティストと観客がお互いの鼓動や息遣いを感じられる、客席数約900席の自由度の高いエンターテインメントのステージです。

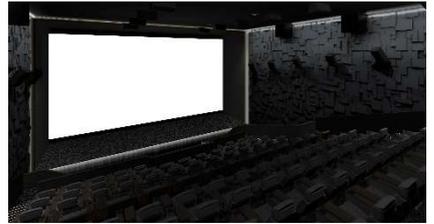
大衆娯楽文化を発信し続けてきた新宿歌舞伎町の歴史を受け継ぎ、演劇×音楽×映画といった多彩なエンタメ文化を発信していきます。



【9～10F 映画館】

多くの映画ファンに惜しまれながら、2014年12月31日に58年の歴史に幕を閉じた「新宿ミラノ座」跡地に映画館が戻ってきます。

スクリーン数は8つを想定。「新宿ミラノ座」を運営していた東急レクリエーションが、そのDNAを継承しつつ、シネマコンプレックス「109シネマズ」のノウハウを活かし、新たな映像体験をお届けします。



【17～47F ホテル】

ラグジュアリークラスのホテルと、お客様に新しいライフスタイルを提案するホテルが誕生します。

ラグジュアリーホテルは地上170m以上に客室を設け、ワイド7mの窓から東京の絶景を堪能いただけます。また上層3フロアにはpentハウスを備え、宿泊に食やリラクゼーションを含めた特別の価値を提供します。

ライフスタイルホテルでは、各エンターテインメント施設での余韻に浸っていただくとともに、新宿・歌舞伎町で生まれ続けるカルチャーを体験いただけます。

ホテルの経営は、東急株式会社の100%出資で設立した株式会社THMが担い、株式会社東急ホテルズが運営を受託します。



▲pentハウス客室



▲ラグジュアリーホテル客室



▲ライフスタイルホテル客室

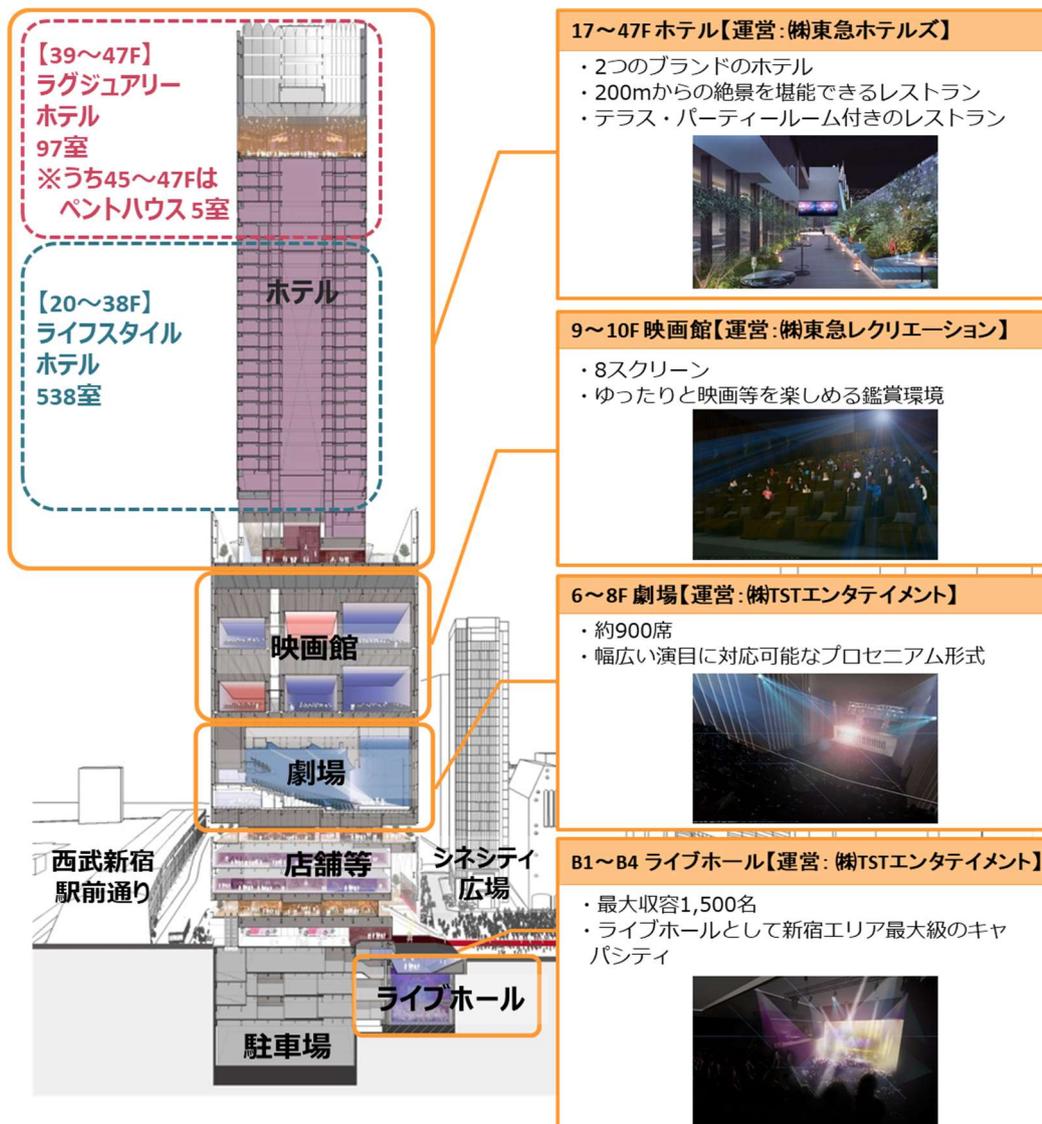
※本ニュースリリースに掲載されているパースは完成予想図CGです。今後変更となる場合がございます。

【参考】

■計画概要

事業主体	東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
所在地	東京都新宿区歌舞伎町一丁目29番1、同番3(地名地番)
用途	ホテル、劇場、映画館、店舗、駐車場など
敷地面積	4,603.74㎡
建築面積	約3,600㎡
延床面積	約87,400㎡
階数	地上48階、地下5階、塔屋1階
高さ	約225m
設計者	久米設計・東急設計コンサルタント設計共同企業体
外装デザイン	永山祐子建築設計
企画・プロデュース	株式会社POD
施工者	清水・東急建設共同企業体
竣工	2023年1月11日(予定)
開業	2023年春(予定)

■建築計画概要



■株式会社THMについて

- (1)商号 株式会社THM(英文名:THM Corporation)
- (2)設立年月日 2021年2月1日
- (3)事業の内容 ホテルの経営・企画・設計に関する事業
- (4)代表取締役 星野 俊幸 (東急株式会社 取締役 専務執行役員)
- (5)資本金 100百万円



■株式会社東急ホテルズについて

- (1)商号 株式会社東急ホテルズ(英文名:TOKYU HOTELS CO., LTD.)
- (2)設立年月日 2001年1月9日
- (3)事業の内容 ホテルの経営および運営受託
- (4)取締役社長 村井 淳
- (5)資本金 1,850百万円



■TSTエンタテインメントについて

株式会社TSTエンタテインメントは、東急歌舞伎町タワーにおける、エンターテインメント施設の企画・運営を目的とした合併会社で、東急株式会社、株式会社東急レクリエーション、および株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの3社によって設立されました。



- (1)商号 株式会社TSTエンタテインメント(英文名:TST ENTERTAINMENT CO.,LTD.)
- (2)設立年月日 2018年12月7日
- (3)事業の内容 エンターテインメント施設の企画・運営及びそれに関する事業
- (4)代表取締役 木村 知郎(東急株式会社 新宿プロジェクト企画開発室 室長)
- (5)資本金 100百万円
- (6)公式Webサイト MASH UP! KABUKICHO

新宿・歌舞伎町の魅力と、音楽、映画、演劇など、あらゆるエンタメコンテンツが交わることで生まれる、新たな価値観をお届けするWebメディアです。



【URL】<https://tst-ent.co.jp/mashup/>

